



地元の人たちの願いを背負い、浦島太郎はさっそうと沖へ

8/15(木) 安全、豊漁... 沖で願いを

漁業の盛んな白谷町で、江戸時代末期から続くといわれる伝統の龍宮まつりが行われました。浦島太郎にふんした子どもが亀に乗って沖へ向かい、海の安全と豊漁を祈ったり、地元の子どもたちが浦島太郎伝説の寸劇を演じたりするユニークなこのまつりには、地元の人のみならず、毎年多くのファンが訪れます。今年も浦島太郎をはじめとする白谷町の人たちは、多くのギャラリーに見守られながら、海の神様に祈りをささげていました。



キャンプファイヤーを囲むと、みんなの気分も最高潮に！

8/6(土)~7(日) 満喫！ “わくわく”だらけの2日間

夏休み真っただ中の小学生たちが、「自然・冒険・友達づくり」をテーマに、1泊2日のわくわくキャンプを行いました。江比間野外活動センターに集まった小学生たちは、飯盒を使った慣れない食事作りなどを協力して行うことにより、互いのきずなを深め合いました。また、キャンプファイヤーを囲んで楽しかった1日をみんなで振り返ったり、テントの中で友達と一晩を共にしたりするなど、キャンプのだいご味も存分に味わいました。



海上から望む田原市やスナメリに会える三河港に興味津々！

8/20(日) “ちびっこ研究家” 船上に集う！

市内の小学生らに、三河港の貿易・製造・港湾活動や、海への関心を持ってもらうため、三河港子どもクルーズ2007を開催しました。遊覧船に乗り、三河港内での約3時間を過ごした子どもたち。臨海工業地帯や風力発電所などを海上から見学したほか、水質調査を自分たちで行ったり、スナメリを観察したりするなど、ふだんできない貴重な体験により、三河港や田原市への興味をよりいっそう深めました。



どんぐりなどの木の実や間伐材を使った工作教室

7/29(日) 親しもう！ 環境問題や省エネに

あつまれ!!得するサマーフェア2007を田原文化会館一帯で開催しました。太陽光や風力などの新エネルギーに親しむ「エコエネフェスタ」をはじめ、「子ども工作教室」「設楽町の物産展」など、各会場たくさんの親子連れでにぎわいました。また、写真家・遠藤秀一氏を迎えた講演会では、南の島「ツバル」の自然や地球温暖化による海面上昇の深刻な被害状況の内容に、来場者は自然環境を守ることの大切さについて理解を深めました。